



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.10月号

## 秋期特別展

### くらしの今昔 ～電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち～

会期：10月20日（土）～12月24日（月）

会場 平塚市博物館特別展示室

便利な電化製品がなくてもみんなたくましく生きていた。昭和30年代以前にタイムトリップして当時の生活道具たちをのぞいてみよう。どんな暮らしをしていたのか探ってみよう。そして、便利になって私たちは何を不得何を失ったのか、考えてみましょう。

#### ●展示構成●

- I くらしのなかの火  
あかり、炊事、暖房、いろり、燃料
- II くらしのなかの水
- III 涼を求めて
- IV 娯楽と通信の今昔



## 特別展関連行事

#### ◎1日むかしの暮らし体験

洗濯板でせんたく、火打ち石で火起こし、かまどでごはん炊き、蓄音機でレコード鑑賞、むかしの遊び、火のしでしわ伸ばし、などを体験します。

日時：11月18日（日）午前10時～午後3時  
場所：屋外展示場  
対象：小・中学生とその保護者  
参加：自由（ただし昼食参加は先着30名に限定）

#### ◎講演会「昭和のくらしに学ぶこと」

昭和30年代以前の農村の暮らしについて語ります。  
日時：11月24日（土）午後1時30分～3時  
講師：浜野達也（当館学芸員）  
場所：博物館講堂  
参加：自由

#### ◎特別展展示解説

日程：①10月27日（土） ②12月22日（土）  
時間：13時～13時50分  
参加：自由

#### ◎秋のイブニング・ミュージアム・ウィーク

##### テーマ「あかりとエネルギー」

日時：11月6日（火）～11日（日）の午後6時～7時

講師：当館学芸員

参加：自由

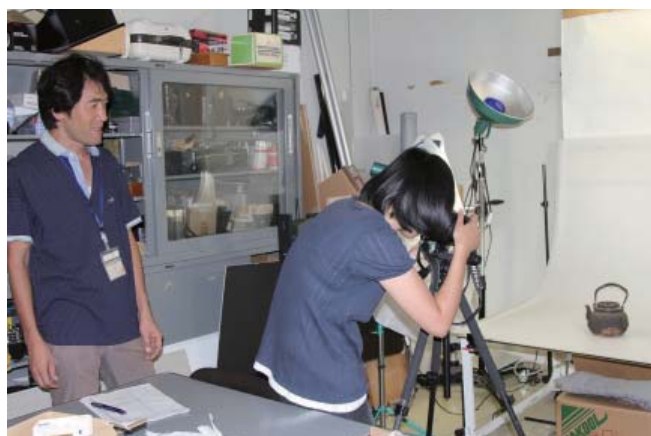
日程：11/6（火）「縄文体験 炎のタベ」屋外（栗山雄揮）  
11/7（水）「地震のエネルギー」講堂（森慎一）  
11/8（木）「江戸のエネルギーを支えた相模川水運」講堂（早田旅人）  
11/9（金）「むかしの灯り体験」科学教室（浜野達也）  
11/10（土）「身近なもので電気を作ろう」講堂（塚田健）  
11/11（日）「街明かりと天の川」プラネタリウム室（澤村泰彦）



民家に積みあげられたマキ（平塚市土屋）

## 平成 24 年度 博物館実習

9月5日(水)から12日(水)までの延べ7日間、学芸員資格取得を目指す大学生・大学院生12名が当館において博物館学芸員実習を受講しました。実習生の皆さんは資料整理から教育普及事業、展示制作と多岐にわたる博物館の仕事を体験しました。その集大成となる寄贈品コーナーの展示、ぜひご覧ください。



民俗資料の写真撮影を学ぶ実習生

### 博物館実習生制作

## 暦史 ～星と365日～

会期：9月13日(木)～10月30日(火)

毎年、平塚市博物館ではこの時期、寄贈品コーナーを利用して博物館実習生たちによる企画展示が行われています。

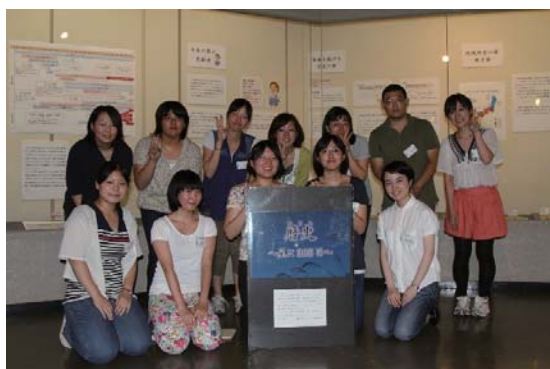
今年、私たちは「暦史 ～星と365日～」という展示を制作しました。“れきし”は本来“歴史”の字を用いますが、今回の展示では「日本の暦の歴史」に焦点を当てています。

ふだん私たちが接しているスケジュール帳やカレンダー。そこにある暦にポイントを置き、日本の暦の歴史を紐解いていきます。実際、太陰暦や太陽暦、旧暦などといった単語は目にしたことはあれど、どのようなものかまで考える人は少ないのではないのでしょうか。日本が昔どのような暦を使っていたのか、いつから日本独自の暦を使い出し、いつ頃から世界共通の暦となったのでしょうか。これを少しのきっかけとして日ごろ疑問にも思わず受け入れているものを改めて知っていただければと考えています。



渾天儀の模型を製作中

展示では、日本の暦を動かした安井算哲とその時代以降の変わり続ける暦の流れを追っていく形になっています。また、地域を限定して使用されていた暦の実物が展示してあります。江戸時代に暦を作るために天体観測をした道具の紹介や実習生が再現し作った模型も展示しました。ある時期を境にガラリと変わる日本の暦。世界の暦から日本独自の暦へ、そして今でも使われている旧暦や季節の話といった慣習、言い回しの流れを楽しんでください。ゆるキャラ、やすいくんが待っています。



完成した展示と実習生一同

(東海大学 宮下 華穂)

# 毎年恒例！ フリートーク・プラネタリウム



“ディープな宇宙へ…”  
厚 宏道 館長

今年もやってきました。当館定番の「フリートーク・プラネタリウム」の季節！  
どんな話が聞けるかは、来てみて、始まってからの楽しみ☆ もしかしたら、「こんな話が聞きたい!」「あの星座が見たい!」と言ったリクエストにも答えてくれるかもしれませんし、なにか趣向を凝らした演出があるかもしれません。三人の天文担当学芸員、鷹、澤村、塚田がそれぞれの持ち味や得意技を活かして投影を行います。同じ学芸員でも、日によって、同じ日でも午前 11 時の回と午後 2 時の回で内容が異なるかもしれません。星座の話あり、壮大な宇宙の話あり、笑い涙あり(?) のフリートーク・プラネタリウム。どんな話題が飛び出すのか、ご期待下さい!



“星空に吹く秋の風”  
澤村 泰彦 学芸員

投影期間:2012年10月6日(土)～11月25日(日)  
の土・日曜日

時間:①午前11時～ ②午後2時～  
観覧料:200円(18歳未満65歳以上無料)  
定員:各回70人



“塚田研究所へようこそ”  
塚田 健 学芸員

## 秋の申込制行事案内

### ○平塚の遺跡を歩く「高麗山城跡群」

高麗山城とその周辺の遺跡を散策します。

日時:10月20日(土) 午前10時～午後3時

申込:往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月11日(木)までに申し込む。

定員:30人(応募多数時抽選)

### ○考古学入門講座「考古学と文献資料 1」

考古学初心者を対象とした入門講座。今年度のテーマは「考古学と文献資料」。2回シリーズで第2回は11月25日(日)。

日時:10月28日(日) 午後2時～3時30分

申込:往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月18日(木)までに申し込む。

定員:50人(応募多数時抽選)

### ○土屋の石仏めぐり 一大寺分・大庶子分編一

石仏を調べる会の会員が土屋大寺分・大庶子分の石造物をご案内します。

日時:11月4日(日) 午前9時30分～午後3時30分

行程:バス停土沢農協前～人増自治会館～妙円寺～正蔵院～大乘院～熊野神社～水呑地藏  
～神奈川大学バス停

申込:往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月25日(木)までに申し込む。

定員:20人(応募多数時抽選)

10月

11月

1	月	休館日	
4	木	展示解説ボランティアの会	講堂
5	金	古文書講読会	講堂
		お囃子研究会	講堂
6	土	古代生活実験室	科学教室
		地域史研究ゼミ	特別研究室
7	日	相模川の生い立ちを探る会	科学教室
8	月	祝日開館(体育の日)	
9	火	休館日	
11	木	石仏を調べる会	土屋地区
		古文書講読会	講堂
12	金	◎星を見る会	科学教室
		◎平塚郷土史入門講座	講堂
14	日	◎平塚の古代を学ぶ会	野外
		休館日	
16	火	地質調査会	工作室
17	水	民俗探訪会	葉山町
		裏打ちの会	科学教室
18	木	展示解説ボランティアの会	講堂
		古文書講読会	講堂
19	金	お囃子研究会	講堂
		星まつりを調べる会	科学教室
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		◎平塚の遺跡を歩く	野外
21	日	◎平塚学講座「ガイダンス」	講堂
		◎ろばたばなし	相模の家
22	月	休館日	
25	木	石仏を調べる会	大野地区
		古文書講読会	講堂
27	土	◎特別展展示解説	特別展示室
		◎お囃子研究会	講堂
28	日	◎星を見る会	科学教室
		◎平塚郷土史入門講座	講堂
29	月	◎考古学入門講座	講堂
		休館日	

寄贈品コーナー「歴史 ～星と365日～(博物館実習生制作展示)」  
 プラネタリウム「フリートーク・プラネタリウム」

秋期特別展「くらしの今昔」  
 (12月24日)

☆: 展示・プラネタリウム ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示・プラネタリウムと行事

<特別展と関連行事>

☆秋期特別展  
 「くらしの今昔  
 ～電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち～」  
 会期: 10月20日(土)～12月24日(月)  
 ※詳細は本誌1頁参照

<寄贈品コーナー>

☆「歴史 ～星と365日～(博物館実習生制作展示)」  
 会期: 10月30日(火)まで  
 ※詳細は本誌2頁参照

<プラネタリウム>

☆プラネタリウム番組「フリートーク・プラネタリウム」  
 ※詳細は本誌3頁参照

<申込制の行事>

※詳細は本誌3頁参照

1	木	展示解説ボランティアの会	講堂
2	金	古文書講読会	講堂
		お囃子研究会	講堂
3	土	古代生活実験室	科学教室
4	日	◎土屋の石仏めぐり①	土屋地区
		◎平塚学講座 天文分野	プラネタリウム
		相模川の生い立ちを探る会	鎌倉七口
5	月	休館日	
6	火	◎秋のE.M.W.(考古)	屋外展示場
7	水	◎秋のE.M.W.(地質)	講堂
8	木	石仏を調べる会	大野地区
		◎秋のE.M.W.	講堂
9	金	古文書講読会	講堂
		◎秋のE.M.W.	科学教室
10	土	星まつりを調べる会	科学教室
		◎秋のE.M.W.	講堂
11	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
		◎秋のE.M.W.	プラネタリウム
12	月	休館日	
13	火	地質調査会	工作室
15	木	展示解説ボランティアの会	講堂
		古文書講読会	講堂
16	金	お囃子研究会	講堂
		◎星を見る会	科学教室
17	土	◎平塚の遺跡を歩く	野外
		地域史研究ゼミ	特別研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
18	日	◎ろばたばなし	相模の家
		◎1日むかしの暮らし体験	屋外展示場
		◎平塚学講座 地質分野	講堂
19	月	休館日	
21	水	民俗探訪会	葉山町
		裏打ちの会	科学教室
22	木	石仏を調べる会	特別研究室
		お囃子研究会	講堂
24	土	◎特別展関連講演会	講堂
		天体観察会	科学教室
25	日	◎考古学入門講座	講堂
26	月	休館日	
30	金	お囃子研究会	講堂

秋期特別展「くらしの今昔 ～電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち～」  
 (12月24日)  
 寄贈品コーナー「市制施行記念品展」(11月29日)  
 プラネタリウム「フリートーク・プラネタリウム」

<自由参加の行事>

◎平塚郷土史入門講座 第二回「近世平塚の領主たち」  
 日時: 10月14日(日) 午前10時30分～12時  
 会場: 講堂  
 ◎平塚郷土史入門講座 第三回「幕末の村おこし」  
 日時: 10月28日(日) 午前10時30分～12時  
 会場: 講堂  
 ◎星を見る会「秋の星を見よう」  
 日時: 10月12日(金) 午後7時～午後8時30分  
 場所: 科学教室・屋上  
 ◎星を見る会「後(のち)の月を見よう」  
 日時: 10月27日(土) 午後7時～午後8時30分  
 場所: 科学教室・屋上  
 ◎ろばたばなし  
 内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。  
 日時: 10月21日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時  
 場所: 展示室1階「相模の家」

10月の休館日: 1日、9日、15日、22日、29日

あなたと博物館 40巻7号 通算430号 発行 平塚市博物館 2100  
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949  
 E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/